

北部構内とその周辺のスポット紹介

文責:はぎーどらんぷ



○農場(北部構内の北のほう)

- ・初夏の夜、カエルがゲコゲコと鳴いていて、尋常ではなくうるさい。
- ・ここで弥生時代のイネを栽培していた学生が、何者かによって一夜にそれらすべてを刈り取られてしまった、という逸話がある。弥生人の亡霊か¹？
- ・また、ある土壤実験の授業では農場周辺の土を1時間かけて掘り返してはまた埋め戻すという服役囚の如き役務が課せられる(目的は地中サンプルの獲得である)。学生の本分は労働だ。

○京大農学部グラウンド

体育会御用達の施設。

その広大さから、京都市の広域避難場所²として指定されている。場所はくらいは知っておこう。

¹ 吉田南構内にある国際高等教育院(KKK)の直下には、弥生時代の水田遺構が発見されている。(2014年)。北部構内にも、北白川追分町遺跡が発見されている。京大の建物に水田を奪われた弥生人の亡霊なのじゃ。

² 広域避難場所とは(京都市 HP より)

コラム

君は、琵琶湖疏水を知っているか。東京奠都(1869 年)のために衰亡の危機に立たされた京都府の政策により建設された、滋賀の琵琶湖から水をいただくための水路である。設計は京都帝国大学の教授を務めた田邊朔朗 この水路は遠く滋賀より流れ出て、山科を経由したのち、京大よりももっと南の「蹴上」というところで京都市にあらわれる。で、そこで本流は西進し、分流は北進する。北進するした分流は途中、桜並木を流下したのち、北部構内の「京大農学部グラウンド」のすぐ東を通る。

さて、この冊子を読んだ後、時間のあるときに農学部グラウンド東の水路にいってみよう。今の流れを遡上するのだ。琵琶湖からの水を眺めて滋賀県民に思いをはせつつ、南を行けば、西田幾多郎の歩んだ「哲学の道」が、桜並木とともにあらわれてくるはずだ。

○湯川秀樹記念館

誰もが知っている京大卒の物理学者といえば「湯川秀樹」が浮かぶ人が多いかと思う。「朝永振一郎」もいますね。

その記念館が農学部総合館の東側にも存在している。筆者はオープンキャンパスがあったときに入らせてもらった。湯川秀樹の研究室を復元したものなどがあった(はず)。湯川本人の手になるノートなど、資料群は入口はいつてすぐくらいのところに陳列されているので、いつでも見にいける。

○理学部植物園

おすすめする人が多いので逆張り野郎の私はこれを紹介することをためらったが、紹介しないのもなんだか隙があると思い、書く。

農学部総合館東側の出口を出てみると、割とすぐに見つかる。植物園は観光目的の施設ではないので、見栄え良く手入れがされているわけではない。(大学の施設は大体そうだが。。)が、それがよいのだ。そして何より二時間連続の講義があった時の休み時間などにふらっとリフレッシュに行ける距離だというのがポイント高し。

樹木ごとにその種名が表記されているし、勉強になる。猫がたまに出没する。

「大地震の際に発生する大火災から逃れるための避難場所として、京都市では安全面積が概ね 1 ヘクタール以上の空地(公園、グラウンド、河川敷など)を指定しています。」とのこと。

京大周辺では、農学部グラウンドのほかに、西に鴨川の岸边、南に岡崎公園がある。いざとというときのために覚えておこう。

○農学部正門

今皆さんが頭に思い浮かべた門は、多分(受験時に通ったかもしれない)あの大きな門だろう。しかし、実はあれは「理学部正門」と呼ばれる門だ。「農学部正門」は今出川通りを東に歩いて行った先に、北に奥まって所在している小さな門のことなのだ。

森田慶一という東京帝大卒、京都大学名誉教授にもなった有名建築家の手になるこの門は、森田が過去の様式からの分離を唱えた「分離派」の一人であったこともあって「控えめな？」装飾のデザインになっている。しかしよく見るとアーチの形が凝っていることに気付く。

京大は比較的新しい建築も多くそちらばかりが目に行くが、よく見ると味のある古い建築(いわゆる「近代建築」)も多い。ぜひ探してみよう。³

○銀杏並木

よく通るアレ。学期中は人が多すぎて私は嫌いなのだが、土日や長期休暇中の銀杏並木は好き。秋になると銀杏の葉が「咲き誇る」ような感じ。とにかく美しい。

北部祭典はこの銀杏が美しい時期に4日間開催される。去年は最終日の夜に、企画の人と実行委員が一緒になって、銀杏並木をライトアップした。静かにそれを眺めながら飲むお酒がおいしかった。カロチノイド万歳。

○農学部総合館

皆さんが専門科目を受けるたびに通うことになるであろう建物。「日」の字型をしている。土日は学生証がないと入れない。

ところで…。有名な五山の送り火は夏 8 月に行われるが、五山をすべてみられる場所は京都には存在しない、と言われている。

ここ、農学部総合館の屋上は五山がすべてみることができる場所の候補だといわれているが、どうであろう。

ちなみに、私は同志社大学の近くにその幻の場所を一つ見つけた。みんなも見つけてみよう。

～他の人に聞いた北部構内の話～

○志賀越道

○かりんの木(北側の入口にあるとか)

○理学部某号館の植え込みはローズマリーだよ。匂いをかぎに来よう。

○6 号館ピロティの桜きれい。

○今出川通の横断歩道めっちゃ待たされる。

³ 他の北部構内のおすすめとして、銀杏並木西側にある「数学教室」がある。内部もおしゃれだが、庭もまったりできてよいスペースになっている。